

淡輪地区福祉委員会

発行 令和6年9月1日

発行責任者 阪下 伸

090-4272-9941

第32回淡輪地区福祉委員会の総会が令和6年5月26日（日）午前10時から開催しました。出席者39名委任状35名で過半数以上の出席があり総会は成立し各議案は審議のうえ可決承認されました。新しい役員に坂原寛則さんと村田博司さんの2名が常任理事に就任されました。今後の活躍に期待いたしますと共に、淡輪地区福祉委員会活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

委員長 阪下 伸



淡輪小学校キッズボランティアキューピークラブ活動の後方支援をして…

梅雨を迎えた6月26日キューピークラブの9名のメンバーが地域の高齢者の皆様との交流を目的に「ぽぽろ淡輪」を訪問しました。クラブのメンバーは学校の休憩時間に練習を重ね心のこもったプログラムから歌やハンドベル、七夕をテーマにしたパネルシアター、高齢者の方と一緒に楽しんだ坊主めくり等、約40分の訪問でした。終了時には、子どもたちと握手した高齢者の方から「うれしかった」「ありがとう」「しあわせでしたよ!!」とうれしい言葉が発せられ、子どもたちは「緊張したけど楽しかった」「ゲームと一緒にできてうれしかった」又昨年も訪問した子供からは「久しぶりに会えてうれしかった」等楽しい時間を過ごして満足そうでした。

奥出 ひろ子

令和5年度防災研修会

令和6年3月19日（火）に阪神淡路大震災記念館の「人と防災未来センター」で防災研修と東灘処理場の施設見学に29名が参加しました。

人と防災未来センターでは、防災の知識と今後起こりうる災害への備えを学ぶことが出来ました。

施設内では、まず、最初に震災を経験された語り部さんから、生の話を聞かせてもらいました。それから、地震発生の瞬間を再現した大迫力の映像上映や震災直後を再現した街並み、生々しい震災関連資料、そして、簡単な実験装置を見学しました。

この様な映像等を見ると震災に遭われた方々の悲しみや苦しきは、はかり知れないものがあると思います。日本の最先端の技術の進化でも、どうしようもない自然の恐ろしさを肌で感じる事が出来ました。

次に東灘処理場は、神戸市最大の下水処理場とのことです。今までは、下水処理場の主な作業として、汚水を処理しきれいな水にして川や海へ放出する事でしたが東灘処理場では、低炭素・循環型のまちづくりを目指し汚泥や処理水の有効活用を進めています。汚泥の有効活用としては、下水汚泥をガス化し、高度精製し自動車の燃料や家庭で使用するガスにし、汚泥の中に含まれているリンを回収し、肥料化しています。東灘処理場では、私達の家庭から出した汚水を再利用し、CO₂を削減して低炭素・循環型のまちづくりを進めているとのことです。

このような計画が数十年先の私達の生活に必要になってくるものと思います。

多賀井 尚武



編集後記

最近、新型コロナウイルスの感染症が再流行しているようで、私自身も感染しました。また、ほぼ毎日、熱中症警戒アラートも発令しており、猛暑の日が続いており、熱中症患者も増えている状況で、安心・安全を考慮し、8月の「喫茶たまり場」「ぼちぼち喫茶」「みんなのランチ屋さん」はお休みをしました。

9月に入りましたがまだまだ暑い日が続きますので、皆さまも体調にお気をつけお過ごしください。

矢部 義和

